

2026 年度 授業計画(シラバス)

| 学 科 | 看護学科 | | 科 目 区 分 | 専門基礎分野 | 授業の方法 | 講義 |
|--|-------------|---|--|-----------------|--|---------------|
| 科 目 名 | 公衆衛生学 | | 必修/選択の別 | 必修 | 授業時数(単位数) | 30 (1) 時間(単位) |
| 対 象 学 年 | 2学年 | | 学期及び曜時限 | 前期 | 教室名 | 新館2F,3F |
| 担 当 教 員 | 下 埜 敬 紀 | 実務経験とその関連資格 | 関西医科大学医学部衛生・公衆衛生学講座に教員として勤務(2010年より現在まで)。公衆衛生学に関する講義・実習指導と実験を含む公衆衛生学の研究に従事。理学博士。 | | | |
| 《科目目標》 臨床医学が個人の疾病を対象とするのに対して、公衆衛生学は集団の健康を対象とする。公衆衛生は人間の健康に関するあらゆる事象を研究し健康の維持増進をはかる学問である。「公衆」はどのような集団を指すのか具体的な事象と対策、法規を学び、将来の健康づくりと疾病の予防に貢献できる力を養う。また、健康・疾病と生活を支える保健医療福祉制度や法的枠組みについて理解する。 | | | | | | |
| 《成績評価の方法と基準》 【評価方法】終講試験100% 【評価基準】優:80点以上、良:70点以上80点未満、可:60点以上70点未満、不可:60点未満 | | | | | | |
| 《使用教材(教科書)及び参考図書》 公衆衛生が見える(メディックメディア)、国民衛生の動向(厚生労働統計協会)、厚生労働白書(厚生労働省web site)、国民健康栄養調査(厚生労働省web site) | | | | | | |
| 《授業外における学習方法》 新聞やニュースで取り上げられている、公衆衛生学に関する問題を把握すること。 | | | | | | |
| 《履修に当たっての留意点》 公衆衛生は人間の健康に関するあらゆる事象を研究し健康の維持増進をはかる学問である。「公衆」はどのような集団を指すのか具体的な事象と対策、法規を学び、将来の健康づくりと疾病の予防に貢献できる力を養う。健康・疾病と生活を支える社会福祉、保健医療福祉制度、地域包括ケアシステム論、地域在宅看護とも連動する科目である。 | | | | | | |
| 授業の方法 | 内 容 | | | 使用教材 | 授業以外での準備学習の具体的な内容 | |
| 第1回 | 授業を通じての到達目標 | 公衆衛生の概念、社会と健康との関係、国際協力活動について理解し、個体・集団をとりまく諸要因の個人の健康と社会生活への影響を説明できる。 | | テキスト プロジェクター | 授業範囲の予習と、毎回の復習を行う。新聞やニュースをもとに、公衆衛生学に関する問題に関心を向ける | |
| | 各コマにおける授業予定 | 公衆衛生と健康と環境、国際保健 | | | | |
| 第2回 | 授業を通じての到達目標 | 疾病・死亡の指標、検査の指標とスクリーニングについて説明できる | | テキスト プロジェクター | 授業範囲の予習と、毎回の復習を行う。新聞やニュースをもとに、公衆衛生学に関する問題に関心を向ける | |
| | 各コマにおける授業予定 | 疫学1 | | | | |
| 第3回 | 授業を通じての到達目標 | 疫学の概念、疫学の効果指標(相対危険度、リスク比、オッズ比)について説明できる | | テキスト プロジェクター | 授業範囲の予習と、毎回の復習を行う。新聞やニュースをもとに、公衆衛生学に関する問題に関心を向ける | |
| | 各コマにおける授業予定 | 疫学2 | | | | |
| 第4回 | 授業を通じての到達目標 | 疫学研究のデザイン(方法)とその特徴、エビデンスの強さと、疫学的因果関係について説明できる。 | | テキスト プロジェクター | 授業範囲の予習と、毎回の復習を行う。新聞やニュースをもとに、公衆衛生学に関する問題に関心を向ける | |
| | 各コマにおける授業予定 | 疫学3 | | | | |
| 第5回 | 授業を通じての到達目標 | 社会環境の変動、人口静態統計について説明できる | | テキスト プロジェクター | 授業範囲の予習と、毎回の復習を行う。新聞やニュースをもとに、公衆衛生学に関する問題に関心を向ける | |
| | 各コマにおける授業予定 | 健康の指標(保健統計)1 | | | | |

| 授業の方法 | | 内 容 | | 使用教材 | 授業以外での準備学習の具体的な内容 |
|-------|------|-------------|---|-----------------|--|
| 第6回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 人口動態統計、死因統計について説明できる | テキスト プロジェクター | 授業範囲の予習と、毎回の復習を行う。新聞やニュースをもとに、公衆衛生学に関する問題に関心を向ける |
| | | 各コマにおける授業予定 | 健康の指標(保健統計)2 | | |
| 第7回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 健康状態と受療状況、疾病統計について説明できる。医の倫理に関する規定、患者の人権の尊重について説明できる。 | テキスト プロジェクター | 授業範囲の予習と、毎回の復習を行う。新聞やニュースをもとに、公衆衛生学に関する問題に関心を向ける |
| | | 各コマにおける授業予定 | 健康の指標(保健統計)3 医の倫理と患者の人権 | | |
| 第8回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 地域社会における医療の状況、機能および体制等を含めた地域医療について説明できる。 | テキスト プロジェクター | 授業範囲の予習と、毎回の復習を行う。新聞やニュースをもとに、公衆衛生学に関する問題に関心を向ける |
| | | 各コマにおける授業予定 | 医療法と医療体制、地域保健 | | |
| 第9回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 日本における社会保障制度と医療経済、医療保険と公費医療、国民医療費の収支と将来予測を概説できる。 | テキスト プロジェクター | 授業範囲の予習と、毎回の復習を行う。新聞やニュースをもとに、公衆衛生学に関する問題に関心を向ける |
| | | 各コマにおける授業予定 | 社会保障と医療経済 | | |
| 第10回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 生活習慣に関連した疾病の種類、病態と予防について、健康管理、健康診断、予防医学と健康増進を説明できる。 | テキスト プロジェクター | 授業範囲の予習と、毎回の復習を行う。新聞やニュースをもとに、公衆衛生学に関する問題に関心を向ける |
| | | 各コマにおける授業予定 | 成人保健と健康増進1 | | |
| 第11回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | ライフステージに応じた健康管理と環境・生活習慣改善・生活習慣病における患者支援や保健指導を説明できる。 | テキスト プロジェクター | 授業範囲の予習と、毎回の復習を行う。新聞やニュースをもとに、公衆衛生学に関する問題に関心を向ける |
| | | 各コマにおける授業予定 | 成人保健と健康増進2 | | |
| 第12回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 母子保健と学校保健の動向を知り、その保健福祉対策について理解する。出産育児に関わる制度や予防接種について説明できる。食中毒の分類、現状について説明できる。 | テキスト プロジェクター | 授業範囲の予習と、毎回の復習を行う。新聞やニュースをもとに、公衆衛生学に関する問題に関心を向ける |
| | | 各コマにおける授業予定 | 小児保健(母子保健と学校保健)、食品保健 | | |
| 第13回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 産業保健(労働関係法規を含む)、労働者の健康管理を概説できる。 | テキスト プロジェクター | 授業範囲の予習と、毎回の復習を行う。新聞やニュースをもとに、公衆衛生学に関する問題に関心を向ける |
| | | 各コマにおける授業予定 | 産業保健 | | |
| 第14回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 環境と健康・疾病との関係(環境と適応、生体環境系、病因と保健行動)を概説できる。 | テキスト プロジェクター | 授業範囲の予習と、毎回の復習を行う。新聞やニュースをもとに、公衆衛生学に関する問題に関心を向ける |
| | | 各コマにおける授業予定 | 環境保健 | | |
| 第15回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | まとめ・終講試験 | | |
| | | 各コマにおける授業予定 | まとめ・終講試験 | | |